



キャッチフレーズ

子どもの笑顔あふれる 博物館前商店街

事業実施の背景

地下鉄桜山駅と瑞穂区役所駅の間。周辺には住宅が多く、名古屋市博物館、大学、大学病院、高校がある市内有数の文教地区。市博物館を中心に名古屋環状線東西の約40店舗で構成。アーケードがあり、生鮮食品や日用品、生活サービス、飲食店などがバランスよく軒を並べる、生活感のある商店街。

博物館や秋葉神社など地域資源を活用して、子どもたちの思い出づくりにつながるイベントを展開。「人にやさしく、明るく、安心、安全、文化かおる商店街」をテーマに地域に根ざした商店街を目指して活動に取り組んでいる。

事業の概要

【子どもの笑顔があふれるイベントの実施】

博物館茶屋

毎年夏（8月）に、博物館の敷地で、博物館茶屋を開催。活気が失われていた盆踊りを盛り上げ、何より子どもたちの思い出をつくらうと組合青年部が自費でラムネやカキ氷の出店を出したのが始まり。その後、大道芸やスイカ割りゲームなど子供たちに喜ばれるコーナーを順次充実。既に15年を超え、地域の夏の風物詩として定着している。



博物館茶屋は会場として、博物館の入り口導線である博物館プロムナードを利用。博物館開設20周年時には記念行事として、商店街主催で名フィルのコンサートを実施。日ごろから、ともに地域に愛される存在となるため博物館と緊密な連携関係を築いてきている。

秋葉演芸会

平成18年からは、やはり子どもたちの思い出作りにと、博物館茶屋でも子どもたちに人気の大道芸などの演芸をもっと楽しんでもらおうと地域の神社である秋葉神社社務所で、年4回「秋葉演芸会」を開催。毎回、生の演芸に触れた子どもたちの喜ぶ声が満席の会場にあふれる楽しいイベントとなっている。



名古屋市博物館



秋葉神社

【博物館前商店街 - 地域の商店街であることのアピール - 】

組合の機関紙「博物館前商店街新聞」は、平成3年から毎月欠かさず発行。組合内部への情報提供を目的としているが、祭りや行事など地域の情報も多数掲載され、店主と顧客のコミュニケーションツールともなっている。このほか、マップにも「博物館前商店街」の愛称を使用。商店街のシンボルキャラクター「ひみことたける」とあわせて、博物館のある街の商店街、地域の商店街であることを前面に打ち出し、住民、顧客の信頼や愛着を獲得している。

事業の効果

- ・ 博物館と連携してイベントを継続してきており、地域に密着した商店街として、認知され愛着を得ている。
- ・ イベントは若手で主体性を大切に実施し、人材育成にもつながっている。

事業の課題

- ・ やはり組合の組織強化は大切。組織は人であり、今後とも若い人や女性をもっと活躍できるように、組合として取組んでいく。
- ・ ここに住む人が、一度は離れても懐かしく、帰りたいという気持ちを持ってもらえる街になるよう取組んでいく。

商店街の基本データ

名称：瑞穂通商店街振興組合

理事長 大野勝藏

所在地：〒467-0806

名古屋市瑞穂区瑞穂通1丁目12

電話：052-841-6662

構成員：約40名

URL：<http://www.aiweb.or.jp/mizuho/>

